

結成20周年  
新たな大躍進  
に向け出発!

# 日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939番  
(公) 043(222)7207番

99.3.19 No. 4935

## JR貨物の超低額回答粉碎! 座談会① 俺たち「貨物」は怒ってる!

怒りを共有し九九春に闘立ち

上がるう!

国鉄分割・民営化の矛盾と破産の象徴が「JR貨物問題」である。

深刻な経営危機を理由として春闘を前にしてベア・ゼロを半ば公言しながら加えて、これまでのレベルを超えた大合理化提案を行なおうとしている。

こうした中で貨物職場の仲間には怒りを倍加させ反撃に転じ、闘いの中で団結を一層強固にし「分割民営化」体制そのものに挑もうと奮闘している。全組合員はこの貨物職場の怒りを共有し、九九春闘に立ちあがらなければならない。

貨物職場の仲間が座談会の中で訴えていることをしっかりと受けとめようではないか。

「まず貨物の格差、特に賃金格差への率直な声を聞かせて下さい」

君塚・九一年の年末手当から大きく差がつきはじめた。その時は皆んなものすごく怒ったし、その後も毎回差別がつづいていく。中には「あきらめ」も一部には見られるけど全体としては、どこかで怒りが爆発するというほど高まっている。「格差解消」を毎回かけ、闘ってきているけど、大事なことは、この怒りを持続させることではないか。



国分・組合活動に消極的な者も生活面から、これは「許せねえ」という雰囲気大きい。だから「日刊」などもよく読んでいて、関心は高い。会話の中でも「日貨労がダメだからだよな」という声が普通に出てくるし、俺もそこに原因があると思う。怒りを持続させるためにもストライキで闘うべきではないかな。的場・賃金問題(格差)の中に日貨労の悪い役割が何であるかよく出ていると思う。ストライキを打つてもなかなか結果が出ない。だけどさっきの話にもあったけど、あきらめたらだめだというのではないかな。

冬木・JR貨物の当局は当時、怒りがものすごくいから、それを少しでもかわすために「七周年記念」と称して、記念品を出してごまかそうとした。冗談じゃねえよな。

齋藤・賃金格差は、本当にしゃくにさわるけど、それ以上に日貨労のように組合側から「それでいいんだ」といった態度をとっている。



「日貨労への批判がだいぶあるようですが」

冬木・出先の詰所のトイレなどに落書きをよく見かける。日貨労にあたり散らしているけど、あれは日貨労の組合員が書いてると思うよ。

君塚・彼らは自分たちだけ良ければいいという考えにこり固まっている。しかし、現場の組合員(日貨労)を見てみると、やはり組織がどういう方針で進むのか、はつきりさせることがものすごく大事だと思う。

的場・分割民営化が成功したなどと思っている人は百パーセントいない。しかし、日貨労だけは違う、貨物問題を問題にすれば分割民営化の是非にまで進むし、そうすると彼らも危ないし切られてしまうから、現場の不満や反発をおさえるのにやっきとなっている。

スト対象者は地上勤務者・営業関係

## 3・23 99春闘第一波ストへ

- ★ 99春闘勝利! 貨物の超低額回答打破!
- ★ 1047名の解雇撤回・原職復帰!
- ★ 強制配転者の原職復帰、土職登用!
- ★ 反合理化・運転保安確立!

99春闘スト総決起集会  
3月23日(火) 18時~  
千葉市民会館・小ホール  
◎ 全力で結集を!

大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう!